受付番号	2026-34		
許可番号	大歯医倫　第111483号		
研究課題名	マルチモーダルLLM併用支援ロボットは、特別な配慮を要する患者の歯科診療時の不安軽減と意思疎通の円滑化に寄与するか？		
研究責任者	特別支援歯科	申　請　者	井藤 竜大
研究終了日	2030年3月31日		
所　　属	小野 圭昭	所　　属	歯学研究科（障害者歯科学専攻）
職　　名	特任教授	職　　名	大学院1年生

申請の概要

本研究は、マルチモーダルLLMおよび支援ロボットを用いた歯科治療時の医療面接・診療支援により、特別な配慮を要する患者の不安軽減および歯科診療の円滑化が可能かを検証することを目的とする。

われわれの先行研究において、歯科治療恐怖症患者に対し、仮想現実（VR）を用いた介入が歯科治療時の不安を有意に軽減することを明らかにしてきた。一方で、発達障害者、特に自閉スペクトラム症患者に対する診療支援として、VRを用いた単なるDistraction効果（注意をそらす効果）だけでは不十分であり、非協力の背景に応じた、より合目的な支援が必要であると考えられた。

本研究を通じて、支援ロボットによる対面圧（医療従事者が医療面接時に患者に感じさせてしまう精神的圧力）の緩和効果と、LLMを用いた患者の障害特性や診療場面に応じた声かけ生成による個別的な支援の有効性が明らかになれば、従来のDistractionのみでは対応が困難であった患者層における不安軽減および歯科治療の円滑化につながることが期待される。